



大掃除の時に防火のチェック !

平成17年も最後の月となりました。大掃除の時に、全員で防火の再チェックをされるお客様がいらっしゃいます。ポイントは、避難通路・階段・防火戸及び消火器・消火設備の周りに障害物がないか整理すること。それと、コンセントの掃除をされています。

〔避難通路・階段・防火戸〕



- ① ローカ・階段に避難に障害となる物がおかれていないでしょうか？
- ② 震災時に転倒して避難通路をふさいでしまうような、ロッカーなどないでしょうか？
- ③ 扉の開放方向は、避難上支障はないでしょうか？また、鍵がかかっている場合、内部から用意に開鍵できるか？
- ④ 防火戸・防火シャッターの閉鎖障害となるものはないでしょうか？



〔消火器・消火設備等の周り〕

- ① 消火器の前に物があり、消火器の場所がわかりにくくなっていないでしょうか？
- ② 屋内消火栓などの扉が開けにくい状態ではないでしょうか？



〔コンセントまわりの掃除〕

- ① コンセントが電気容量をオーバーしたタコ足配線になっていませんか？
- ② コンセントにほこりがたまっていますか？

トラッキング現象

コンセントとプラグとの隙間にほこりがたまり、湿気を含むとプラグの両刃間で**火花放電**(シンチレーション)が繰り返されます。やがて、プラグの両刃間でショートし、繰り返し発生する微小な火花放電がプラグ両刃間の絶縁状態を徐々に悪くし、トラック(炭化導電路)が形成されます。トラック(炭化導電路)に電気が流れることによって生じた**電気抵抗により発熱**し、ついには発火します。トラッキングが起きても、電気器具に異常が見られることは少なく、発見が遅れる理由のひとつになっています。ある限界点を超えると、現象が飛躍的に進行し、出火します。



トラッキング火災の対策

1. コンセントやテーブルタップに差し込んだままになっている電源プラグは、抜いて**乾いた布で拭き取る**。
2. 機具の使用後は、スイッチを切ってコンセントからプラグを抜いておく。
3. 電源プラグ及びコードが熱くなっているときは、すぐに使用をやめて電気店に点検してもらう。

忘年会シーズン 世界最強のお酒は火気厳禁！

お酒の飲める方も飲めない方も、「アルコール度数の高いお酒は火がつけば燃える」ことはご存知だと思いますが、お酒の中でも最もアルコール度数の高いお酒は、ポーランド産ウォッカ「スピリタス」というお酒です。アルコール度数はなんと96度！ウォッカというよりも、精製アルコールといったほうがよいような代物です。

このお酒は、カクテルのベースとして使われることが多いのですが、酒屋でも千円ちょっとで500ml瓶が販売されています。瓶のラベルには、注意書として「アルコール度数が高いため、火気に注意してください」と記載されています。



■「スピリタス」による火災事例 ■

神戸市中央区のあるショットバーで、ソファで眠ってしまった男性に、同僚の男性がふざけてスピリタスをかけました。タバコを吸うためライターに火をつけたところ、一瞬にして衣服に染み込んでいたアルコールに引火。上半身に大やけどを負った事例。

平成15年6月に東京都において2件の火災事例がありました。

女性がスピリタスを飲んでいて、酔っ払っていたのか、知らない間に衣服にこぼしていたようで、タバコを吸おうとライターに火をつけたところ、こぼしたスピリタスに引火し、大やけどを負ったもの。

二件目は男性がバーにおいてスピリタスを飲みながらタバコに火をつけたところ、グラスが燃え上がり、驚いた男性が衣服にこぼしたため引火し、やけどを負ったもの。

これら、いずれの事例もストレートのスピリタスに、ライターの火が引火したもので、飲酒による注意力の欠如が招いた悲劇ともいえます。忘年会シーズン 世界最強のお酒を飲むときは、火気厳禁です。

神戸市消防局「生活安全情報」より

SPIRYTUS [スピリタス] 原産地：ポーランド 分類：ウォッカ 詳細：ピュア・ウォッカ アルコール度 96%
スピリタスはポーランドで造られているウォッカで、原料はライ麦を主体とした穀物が使われています。蒸留を70数回繰り返すことによってアルコール度数を96度まで引き上げるのだそうです。以前「グランゴジエ」というフランス産の96度のウォッカが出たこともあります。今も変わらず世界最強の座はスピリタスの独壇場です。強烈に強い酒なので「ジュースや炭酸飲料で、うんと薄めて飲むのが一般的」というように紹介されることが多いですが、現実には好きで飲む方はあまり居ず、何も知らない人に「洗礼」のように飲まされることが多いです。グラスに注いで、唇にもっていくと、なめた瞬間、上唇にシビレを感じるほど、その濃度は本当に強烈です



「惜秋」